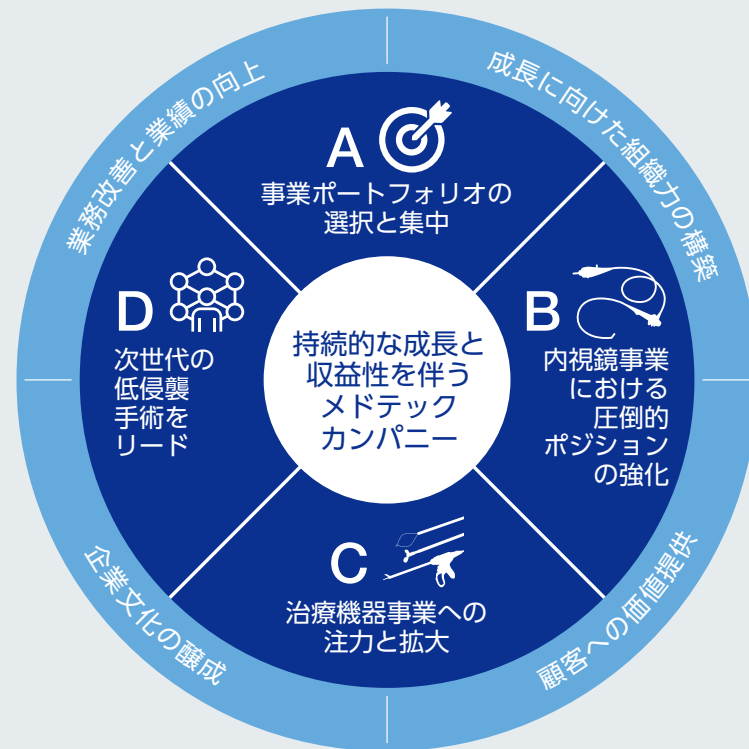


経営戦略における重点項目

4つの重点項目の進捗

オリンパスは、経営戦略において、戦略目標として「世界をリードするメドテックカンパニーへと成長し、革新的な価値によって患者さん、医療従事者、医療機関、医療経済にベネフィットをもたらし、世界の人々の健康に貢献する」ことを掲げ、2023年3月期の業績目標として営業利益率20%超を目指します。この目標を達成するために、さまざまな取り組みを推進しています。



- A**
 - 医療分野を軸にした事業ポートフォリオ
- B**
 - リユース内視鏡の競争力堅持
 - シングルユース内視鏡によるポートフォリオ拡充
 - 内視鏡の販売・サービスモデルの強化
保守サービス、症例ベースのビジネスモデルにシフト
- C**
 - 市場セグメンテーションによる治療機器事業の成長加速
(消化器科(処置具)、泌尿器科、呼吸器科)
- D**
 - 医学的有用性、経済性の向上に寄与する統合技術を導入し
次世代の低侵襲手術における競争優位性確立

A 事業ポートフォリオの選択と集中

- 医療分野の成長に向けて複数のM&Aを実施
(消化器科：Arc Medical Design社、呼吸器科：Veran Medical Technologies社、整形外科：FH ORTHO社、外科：Quest Photonic Devices社など)
- イスラエル医療機器メーカーMedi-Tate社についてコールオプション行使による全株式の取得を完了
- ITソリューション提供を事業とするオリンパスシステムズ株式会社の全株式をアクセンチュア株式会社へ譲渡
- 再生医療技術開発を事業とするオリンパスRMS株式会社の全株式をロート製薬株式会社へ譲渡

B 内視鏡事業における圧倒的ポジションの強化

売上高年平均成長率目標
(2021年3月期～2023年3月期) **～6%**

- 「EVIS X1」の導入済み市場での拡販および今後導入を予定している市場での着実な投入準備
- AIを活用した内視鏡CADプラットフォーム「ENDO-AID」を欧州、アジアの一部地域にて発売
- 米国・中国での外科手術用内視鏡システム「VISERA ELITEII」の発売を開始
(米国：3D・赤外光機能、中国：3D機能)

C 治療機器事業への注力と拡大

売上高年平均成長率目標
(2021年3月期～2023年3月期) **～8%**

- 2021年4月、米国マサチューセッツ州ウェストボローに新施設を開設し、治療機器事業のグローバル統括拠点と米国医療事業のセールス&マーケティング機能を集約
- 戦略の実行とポートフォリオの開発のため、規制、医療、臨床の各分野で高い能力を持つ組織を確立
- アーリーステージの投資の増加により、治療機器事業を中心とした将来的なM&Aターゲットの発掘・検討の加速
- 注力3領域の製品ポートフォリオの拡充を図り、早期診断、低侵襲治療に対する当社のコアコンピタンスをより強固なものとするため、大腸内視鏡検査や内視鏡的ポリプ切除術などにおける視認性の維持に貢献する製品を有するArc Medical Design社(消化器科(処置具))、気管支の末梢部分へのスムーズな到達をサポートする高度な電磁ナビゲーションシステム等を有するVeran Medical Technologies社(呼吸器科)、良性前立腺肥大症(BPH)向けの低侵襲治療デバイスを有するMedi-Tate社(泌尿器科)を子会社化

D 次世代の低侵襲手術をリード

- より正確で安全な外科手術の実現のため、医療用蛍光イメージング技術を有するQuest Photonic Devices社を買収
- 口や肛門などの管腔から挿入して、より低侵襲かつ簡便に、病変を治療するエンドルミナルマニピュレーターの開発の推進